

1月24日 関電よ老朽原発うごかすな！大集会 雨天の中で350人の参加で成功

関電が極めて危険な美浜3号機、高浜1号機の再稼働を画策する中で、24日に老朽原発うごかすな！実行委員会の主催で集会とデモが行われた。当日はかなり厳しい雨の仲、集会には約350人が参加した。集会では中嶋哲演さんが、「原発ゼロ法案」を国会で審議させ成立させたい。関電に老朽原発の再稼働停止を要求し、稼働させるのなら「関電を止める」ことを呼びかけていきたいと述べられた。木原壮林さんが集会宣言で、福島原発事故被災者は今なお苦難を強いられている。関電は故障と危険だらけの老朽原発を再稼働させようとしている。大阪地裁判決は、明確に設置許可を取り消した。老朽原発を廃炉にさせ、命の尊厳を大切にする社会を築いていこうと提起した。集会の終了後、雨の中、梅田までのデモ行進がおこなわれた。



大阪高等裁判所に「執行停止」を申し立て

大阪地裁判決で、「大飯原発 3・4 号機の設置変更許可」について取り消す判決が出た。それをふまえ、高裁での判決が出るまでの間、「設置変更許可」の効力の停止を求める(大飯原発 3・4 号機の稼働を停止する)「執行停止の申し立て」を1月14日に弁護団が、大阪高裁に提出した。公開の法廷審理はないが高裁で審理される。

大阪地裁判決を基に基準時振動の再評価が必要

大阪地裁での判決をもとに、各原発の基準地震動の最大加速動がどうなるかを、美浜の会が調べて公表した。
大飯原発3・4号機:「経験式が有するばらつき」を考慮すると、「入倉・三宅式」で算出された平均値に標準偏差を上乗せする。最大加速動 856 ガルが1150ガルとなる。
美浜3号機:40年を超える老朽炉である。現行の993ガルは標準偏差を考慮すると1330ガルとなり、稼働は不可だ。
高浜1・2号機:関電が再稼働を目論むこの老朽炉も700ガルが1100ガルとなる。設置許可は取り消されるべきだ。

九州の川内原発:現行の基準地震動の最大加速動は540ガルで計算されているが、「ばらつき」を考慮して標準偏差を加えると870ガルとなり、運転は停止して審査をやり直すべきである。

*以上の調査報告は「美浜の会」のHPに公表されている。

3月16日に関電株主代表訴訟第1回口頭弁論

関西電力の会長、社長そして原発担当の役員が、原発の建設・改造などで繰り返し企業や地域ボスから金品を受領し、同時に契約や代金に手心を加えていた。関電も警察・検察も隠ぺいを続ける中で、株主49人が現旧役員22人に92億円の損害賠償を求めた裁判の第1回口頭弁論が開かれる。被告側は、いまだに「金品は預かっていただけ」と主張するといわれている。ぜひ傍聴して市民の怒りを付きつけ、不正に対する裁きを要求しよう。

日時:3月16日(火)大阪地裁前集合→入廷行動

場所:大阪地裁 大法廷(開廷 10:30)

終了後:記者会見と報告集会(堂島ビル9階会議室)

「住民投票」の民意に逆らう「行政一元化条例」を許すな！ 2月市議会・府議会に向け条例反対の声を

昨年12月28日の副首都推進本部の会議では、都構想をそのまま条例化する勢いであったが、市民の反対と、あまりにもでたらめな条例案であったので、1月22日の副首都推進本部の会議では大幅に縮小された。当初は430事業2000億円の財源移管が「うめきた開発」「淀川左岸線」などの7項目となり、財源・予算については議会の議決が必要となった。しかし条例の基本的考え方は、成長や都市計画の重要な権限を大阪府に一元化するものである。



大阪・市民交流会の素早い反撃が奏功

大阪・市民交流会は、「行政一元化」が話題になるや、大量のビラを作成し、市民への宣伝、特に公明党支持層への宣伝を行った。また市議会・府議会に対する陳情書の提出、パブコメの提出、そして採択のキャスティングボードを握る公明党議員への面会と要請が行われた。

1月30日の共同街宣の成功を基礎に反撃を強化へ

1月30日土曜日の昼から、どないネットの街宣に続き、野党共同の街宣が アベノキューズモールで行われた。100人近いボランティアが集まり、通行する市民にチラシ配布をした。立憲民主党からは尾辻さん(代読)、日本共産党からは辰巳さん、社民党からは大椿さん、外にカジノ反対団体代表、大阪市民交流会からの発言があった。集会には市内で日々ポスティング等の活動をしているボランティアが久しぶりに集まり、元気と勇気をもらいました。まだまだ闘いは続きます。2月10日から3月26日までの市会の本会議に向けてあと一歩の反撃が必要です。●市民に向けてチラシを配布しましょう! ●広域行政一元化反対の陳情書とパブコメを提出しましょう! ●公明党市議会議員と公明党大阪本部に反対するように電話とファクスを送ろう。



宮古島市長選で「オール沖縄」が勝利

(朝日 1/19)
任期満了による宮古島市長選挙で、「オール沖縄」が推薦する座喜味氏が、菅政権の支援を受けた現職の下地氏を破って当選した。来秋知事選の「前哨戦」の勝利となった。菅政権の異例の選挙態勢を打ち破った。

「核兵器禁止条約」がついに発効した

(朝日 1/23)
核兵器を史上初めて非人道的で違法とする「核兵器禁止条約」が1月22日に発効した。すでに批准国は51の国と地域となっている。核保有国と日本をはじめ「核の傘」依存国に「違法な核」を禁止するよう要求していこう。

新戦略兵器削減条約(新START)延長

(朝日 1/28)
バイデン政権への交代に伴って、米外交の変化が進んでいる。バイデン大統領は26日にロシアのプーチン大統領と電話協議を行って、新STARTの5年間延長を話し合い、両国は延長への手続きに入った。新STARTは両核兵器大国の一層の核兵器軍拡を制約する。

学術会議が除外6人の任命を要求

(朝日 1/29)
学術会議は28日に幹事会を開き、4月に予定されている総会までに6人を任命するように菅首相に求める声明を発表した。声明では、設置法が定める定員を満たされないまま総会の開催を避けるのが目的である。

馬毛島基地移転反対派が市長選勝利

(朝日 2/1)
現職で馬毛島への米軍離着陸訓練(FCLP)の移転、自衛隊基地の整備に反対する八坂俊輔氏が、基地を容認し交付金による市の活性化を訴えた自民推薦候補を破った。反対派は市民の4割に当たる6000人を含む約30万人の反対署名を防衛省に提出しており闘いは続く。

宝塚9条の会「新春の集い」を開催

(1/23)
1月23日に宝塚西公民館で、恒例の9条の会の「新春のつどい」が開催された。新型コロナの緊急事態宣言が発せられたために、中川市長の講演は中止となり、メッセージが代読された。集会には次期市長をめざす山崎さんが参加されて挨拶が行われた。憲法と平和を守るために。



案内 2/11 スガも維新もいらない！ 命と人権を守る教育を！



主催: 日の丸・君が代強制反対大阪ネット
会場: 天王寺区民センター

(谷町線「夕陽丘駅」下車北)
日時: 2月11日(火)13時30分~

講演: 「拍車かかる国権主義の果てに~
“冷たいファシスト”菅首相の危険な

新自由主義を掲げ、差別・抑圧・貧困を強制する菅政権。そこから派生する数多くの矛盾を隠蔽するために動員される「日の丸・君が代」の掲揚と斉唱。むき出しの国家権力を私は「国権主義」と呼ぶ。なぜ「建国記念の日」が制定されたのか。そこに自由・自治・自律を阻害する動員・統制・管理の原理を持ち込むためでなかったのか。その原理を可視化するものこそ、「日の丸・君が代」ではないか。そうした問題意識からあらためて「2.11」を問うていきたい。— 瀨織 厚 —

案内 日本学術会議「任命拒否」を問う



主催: 止めよう改憲!大阪ネットワーク

講師: 松宮孝明(任命されなかった)
立命館大学法務研究科教授

日本刑法学会理事、九条の会

会場: エルおおさか南館 5F
日時: 2月13日 2時開会

日本学術会議は創立のときから、研究者が軍事研究を強いられるという戦争の反省に立つてつくられた組織である。

2017年にも、日本学術会議は軍事研究に反対する声明を出した。声明の背景には、学問の自由を守るためには軍事研究へと誘導してはいけないという強い思いがあった。

敵基地攻撃能力保有が叫ばれている現在、軍事研究を迫る動きが強まっている。日本学術会議の新規会員の推薦6名の「任命拒否」には、軍事研究のために日本学術会議に影響を与えてコントロールする狙いがある。

愛知県知事リコール署名に大量の不正 実質は維新の選挙運動か

2019年に開催された芸術祭「あいちトリエンナーレ」に関連し、大村愛知県知事のリコール運動の署名運動で大量の不正行為が疑われている。必要署名数の半分も集めることができなかつただけでなく、提出された43万筆の署名にも同一筆跡によるねつ造、書いていない人の署名と指紋印など8割近くが不正と言われている。リコールに何度も賛意を表明し協力していた吉村洋文大阪知事は「署名に不正があれば、徹底的に真相を究明すべき」と他人事のように述べた。

日本維新の田中孝博氏が事務局長

このリコールを行う「リコールの会」を取り仕切ったのは、維新の愛知県の次期衆院選の予定候補である田中氏であった。宣伝カーなども維新から提供されたと言われている。まさに維新にとっては他人ごとではない。

不正で水増した署名簿を提出し、選管から返却されたら、直ちに溶解処分する予定であった。ところが署名の不正が公然化した。維新の不正行為を究明すべきだ！

吉村知事がテレビに連日登場する陰で コロナ禍で苦しむ市民の生活

吉村知事が連日のようにテレビに登場し、「人気」を博している陰で、大阪の死者数は今や全国一である。その大阪では病院のひっ迫によって多くの人が自宅で待機させられ、ホテルで療養させられている。厚生省の規定では1食あたり1500円までの費用が地方創生臨時交付金の対象とすることができる。ところがNET上には、大阪のホテルの食事は、豚カツ弁、鮭弁、唐揚げ弁など500円程度の弁当が続く。そして自宅支援物資はカップラーメン等で構成され、注意として配食内容をSNSに上げる挙げるのを禁止している。

↓↓大阪でのホテル療養者の食事↓↓



大阪での自宅療養者のへの支援→→